



周辺に遊休地などがある場合、駐車場として利用したり、道路標識を設置したりするなど、設備の整備や運転者や歩行者のマナーを向上させる交通安全対策が必要だと思います。

子育てを支援していく上で、子育て情報の発信は、とても重要なことです。「つやま子育てマップ」と併せて、4月にリニューアルする市ホームページの子育て情報も活用してほしいです。保育園の耐震化について、市内には、耐震診断を義務付けられている施設はありますが、老朽化など施設整備が必要かどうか毎年調査して、長期的な視点から計画的に進めています。

保育園周辺の交通安全対策
参加者 市内の保育園の中には、駐車場の不足や周辺道路の交通事情の悪化などから、交通事故が懸念される施設もあります。

津山市保育園父母の会連合会の皆さん8人から、より良い子育て環境を整えるにはどうしたらよいか、意見を伺いました。

第15回
とき 1月23日(金)
テーマ 子育て

参加者
()は保育園名
久常育生(広野)
早瀬雅憲(高倉ひかり)
吉見泰典(//)
和田瑞穂(//)
田淵芳宜(KOK KO)
飯綱昭憲(高野第二)
木下富美子(津山)
常藤靖司(公郷)

子育て情報などの発信を効率よく
参加者 初めて子育てをする親や市外から転入してきた人などは、子育てに関する情報が不足しがちで、どこに相談したらよいか、分からない人もいます。

市が発行している「つやま子育てマップ」は有益な情報源だと思うので、みんなの目に付くところへ配置するなどPRをしては、どうでしょうか。

保育園の耐震化
参加者 保育園の耐震化について、進捗状況を教えてください。

市長 保育園周辺の交通安全対策は、警察署や県民局などと連携を取って行なっていて、できることから対処しています。皆さんも気が付いたことなどがあれば、具体的な箇所などの提案をお願いいたします。

市民と市長のふれあいトークを開催しました
園秘書広報室 ☎32・2029

ご存知ですか？ 社会保障・税番号制度(マイナンバー)

園行財政改革推進室 ☎32-2028

行政事務と行政サービスの効率化や公正化を進めるため、市民の皆さん一人ひとりに番号が割り当てられる社会保障・税番号制度(マイナンバー)が、平成28年1月から始まります。

■マイナンバーで何ができるの？

国民一人ひとりに、12桁の個人番号(マイナンバー)を割り当てます。

この番号を使って、複数の行政機関が持つ個人の情報と結びつけることで、社会保障(年金・社会保険など)や税金、災害対策などで効率的な情報管理ができるようになります。

■いつから使えるの？

平成28年1月から、年金の請求手続きなど、一部の行政手続きで運用が始まります。

■個人番号は、いつ通知されるの？

平成27年10月から、個人番号を記載した「通知カード」が郵送されます。

個人番号は、一生使うものです。原則、変更はできません。大切に保管してください。

■個人情報は保護されるの？

この制度は、社会保障や税金、災害対策などの分野で、法律で定められた行政手続きにしか使用しません。

また、情報はこれまでと同じ機関が保有し、法律や条例で定められた情報に限り照会や提供を行います。情報をやりとりする際は、取り扱う職員を限定したり、通信データを暗号化したりするなどして情報を保護します。



問い合わせ 全国共通ナビダイヤル ☎0570-20-0178
" (英語) ☎0570-20-0291
受付 9:30~17:30(土・日曜日・祝日、年末年始を除く)
ホームページ <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

総合計画策定に向けて懇談会を開催しました

園政策調整室 ☎32-2027

市では、津山市第5次総合計画の策定に向けて、広く市民の皆さんからご意見、ご提案をいただくため、市内19カ所で「地区別懇談会」を開催しました。

また、教育や福祉、まちづくりなどの5分野について関係団体から意見を伺う「分野別懇談会」も行いました。皆さんからいただいたご意見やご提案の一部を紹介します。

こんなご意見、ご提案をいただきました

高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるようなまちに

新たにお金をかけて作るよりも、津山にあるものの活用を

同じことをやってもダメ。人口減少対策に絞って重点的に予算を投入すべき

若い世代の転入を増やすには、教育の質の向上、独創的な教育を行うことが必要

若い人が定着するような職場の確保が必要だ

50年先の孫の代のために、今からできることをやって、備えていかなければいけない

出身者へのUターンへの働きかけを継続的に行なってほしい

中山間地域の農業を維持していくために、お金だけでなく、仕組みづくりを優先させてほしい

津山の将来は人材育成にかかっている。お金は人づくりに投入してほしい



「第4回津山市版事業仕分け」の対応方針

園行財政改革推進室 ☎32・2028

平成26年11月16日に実施した「津山市版事業仕分け」の結果を受け、市が決定した今後の対応方針をお知らせします。

① 民間社会福祉施設整備事業

○ 論点 事業の必要性、補助内容や審査基準の妥当性

○ 仕分け結果 市が実施(要改善)

○ 今後の対応方針 改善見直し
社会福祉事業を取り巻く状況や市民ニーズ、社会福祉法の改正などを踏まえ、平成27年度中に事業の見直しを行う

○ 補助内容や補助対象、審査基準などを見直しして、市の負担を抑制し、より効果的で効率的な補助をしていく

③ グリーンヒルズ津山ガラスハウス管理運営

○ 論点 将来ビジョンの明確化、市の関与の必要性、運営収支について

○ 仕分け結果 民間等で実施

○ 今後の対応方針 民間等で実施

○ 平成28年度から民間主体での運営に向けて、貸付先の可能性調査を実施した上で、貸付先の公募を行う

○ 貸し付けができない場合は、運営方法を見直し、平成28年度から5年間は、市が運営を行い、平成32年度をもって施設を廃止する

② グリーンヒルズ津山リジヨンセンター管理運営

○ 論点 設置目的と運営のあり方、運営の改善について

○ 仕分け結果 市が実施(要改善)

○ 今後の対応方針 改善見直し

○ リジヨンセンターの将来構想について、検討会を設置する

○ 施設使用料を見直し、収入を増やす。将来構想の判断により、指定管理者制度を導入して経費削減を図る

